ブログ記事まとめ（2018年度版）

著者：のってい一

Copyright © ノッティー All Rights Reserved.

著作権及び利用規約

著作権について

本マニュアルは著作権法によって保護されています。
著作者の事前の許可なく以下の行為を行うことを禁じます。
・マニュアルの転売、複製、譲渡、公開（紙媒体、電子媒体、映像媒体、音声等全て）
・マニュアルの内容の引用、転載
・その他、著作者が不適切と判断する一切の行為

利用規約

本教材は、発行時点の乙の見解をまとめたものであり、その正確性を乙が保証するものではありません。投資・投機にあたっては、全て甲が自己責任で行うものとし、投資・投機によるいかなる損害が発生しても乙は責任を負わないものとします。

はじめに

どうもノッティーです！

この度は本PDFのダウンロードありがとうございます。

このPDFは、主に僕が2018年度にブログで書いた記事について一部を加筆修正して
まとめたものです。

今年で僕が専業トレーダーになってから6年目になります。
この6年間で色々な事がありましたが、それでもやっていけているのは、
トレードに対する考え方やアプローチ方法を一貫しつつも定期的に反省して
新たな考えを取り入れているからだと思います。

このPDFにも僕の相場に対する考え方が沢山詰まっています。

トレードで悩んでいる方、迷っている方の参考になれば幸いです。

トレード手法内のルールの序列

トレード手法というのは、複数のルールの組み合わせで成り立っています。
例えばこんな感じで・・・

・どのインジを使うのか
・どうやってチャートを見るのか
・どの時間軸を使うのか
・どこで入って、どこで出るのか
・トレード時間は何時から何時までか
・どの通貨ペアでトレードするのか
・１日にどれくらい負けたら撤退するのか

などなど。

これらを全部まとめて「トレード手法」として成立するわけですね。
トレード手法の中に複数あるルールは、全てが平等というわけではなく、
優劣があるべきだとは考えています。

特に「リスク管理」に関わるルールは、一番上位に持ってくるべきです。

例えば、損切りや撤退戦略などはリスクをコントロールすることになりますので、
どんなルールよりも重要です。

なので、上位のルールを優先してトレードしていくこと、
そして「上位のルールとは何か？」を決めていくことも大事だと思います。

こういったルールの中で下位になるのが「**どこでエントリーするか**」です。

別に「エントリーポイントが重要ではない」と言っているのではありません。

トレード戦略として優位性のあるエントリールールを持つことは非常に重要です。

しかし、「エントリー」とはリスクを取っていく行為ですから、
別にルール的にエントリーして良くても、相場の状況によっては
「エントリーしない」と選択する、つまりルールを無視しても良いわけです。

もちろんエントリールール外でポジションを持とうとするのは論外ですが、
エントリールール内においては、「エントリーしない」と決めるのも重要なんですね。

この辺を決めるのが裁量になってくるんだと思います。

こんな感じで、トレード手法の中にある複数のルールについて、
「**何が何でも従わないといけないルール**」や
「**自分の裁量でコントロールしても良いルール**」を予め決めておくと、
手法全体にまとまりが出来てクリアになって、ルールを守りやすくなるかと思います。

手法内のルールを組織化するってことでしょうか。

こうすることで、自分の手法に足らないモノも見えてくるかも知れませんね。

兼業時代はどんな感じでトレードしてた？

定期的に「**専業トレーダーになる前はどんな感じでトレードしてました？**」
といった質問をよく頂きます。

専業を目指す方や兼業で頑張っている方にとっては関心の高いネタですね。

今回は僕の手法が固まってきた時の兼業時代のトレードスタイルについて
書いてみたいと思います。

僕が以前勤めていた会社は結構コンプライアンスにうるさい会社で、
残業することも少なく、今思えばホワイトな社風でした。
（僕は社会性が無いので上司が残っていても気にせず帰宅できる人間でした）

おかげで定時に帰れることが多かったので、トレードする時間や検証する時間は
結構多く取れたかなと思います。

で、帰宅したらとりあえずチャートチェック。
（仕事中もTeam Viewerで家のパソコン画面をスマホに映し出していましたけど）

そのままチャンスをうかがいながら、家のことをやったり、
トレードしたりしていました。

そしてトレードを終了するのが24時くらい。

とは言っても24時までガッツリとトレードするわけではなく、
早いときには10時くらいに打ち切って、残りはトレードの反省をしたり、
検証したりすることが多かったですね。

僕としては、この検証だったり反省の時間がとても大事だったと今でも思います。
トレードのやりっ放しでは気づかないことが沢山ありますからね。

改めて当時の生活スタイルを考えると、結構ハードだったように思えます。
でもこんな生活が出来たのも、嫁さんの理解があったからなんですよね・・・。

兼業時代の質問をしてくる方の中には、
「トレードを頑張ってるせいで家族との時間がなかなか取れない」
といった悩みを持っている方もいます。

家族のためにもっと稼ぎたい、だけど家族との時間が取れない・・・
というジレンマに陥るわけですね。

1日24時間しかないので、頑張る人・真面目な人ほど悩みます。
これについてはどうしても家族の理解が必要だと思います。

でもここで焦るのはダメ。

無理して専業になっても辛いだけですので、兼業になってある程度稼げるように
なって自信が持てるまではコツコツと地道に続けるしかないですね。

ホントにね、トレードに関わることで「焦り」はダメです。
常に心にゆとりを持てる状況でトレード出来なければ、
100%のパフォーマンスを発揮できません。

そのためにも、自分自身がトレーディングに対する理解を深めて、
そして家族にもトレードに対して理解して貰うことが大事かなと思いますね。

とりあえず一つのことに集中しよう

トレードをやっていて、気をつけないといけないのが自分の「**欲**」ですよね。

トレーディングなんてカネでカネを稼ぐ仕事なので、誰もが欲を持って始めている
とは思うんですが、欲がトレードの原動力になもなり、逆に勝てない要因の一つ
だったりします。

欲が勝てない要因になるのは、**欲があると一つのことに集中できないからです。**

欲のせいで無駄にエントリーしますし、損切りが出来なくなりますし、
資金管理も間違ってしまいます。

他にも、ろくに検証もせず、トレード手法の表面だけを知っただけで
「これは使えない」と決めつけて、他の見栄えの良い手法に飛びつくのも、
「**楽して簡単に儲けたい**」、「**もっと優れた手法があるはずだ！**」と言った感じの
欲があるからなんですよね。

こういった欲のままに動き続けると、本当のトレードの技術が全く身につかずに、
無駄にトレード歴が長くなってしまう・・・ということになります。

で、このつまらない状況から打破する方法は何かというと、
このブログでも何度も言っていますが「**一つのことに集中すること**」です。

これだけで良いんです。

トレード手法は自分が「これだ！」と思うもの1つに決める。

スキャルとスイングの両方をやろうとせず、
スキャルならスキャル、スイングならスイングだけに絞る。

順張りと逆張りの両方で取ろうとせず、順張りなら順張りだけ、
逆張りなら逆張りだけでトレードする。

こんな感じで何か一つの手法、一つのタイムスパンだけでトレードするんですね。

器用に複数の手法を使い分けたりするのは、一つの手法で勝てるようになった後にやるべき事です。

検証についても、自分の手法についてエントリー、エグジット、見送りポイントなど
一つ一つ集注してやっていきます。

こんな感じで地味なことをやることでしか見えてこないことって本当にあるんですよ。

それまでは全く気にもしていなかったローソク足の流れが、実は要注意な状態
だったり、逆に凄く美味しい状態だったり・・・
ってことが分かったりするわけです。

これは自分でチャートを見て、頭を使って、色々とメモをしながら
検証したり、トレードしたり、反省したりしないと身につきません。

このことに気づけるかどうかで、その後のトレーダーとしての技量は
大きく違ってくると僕は確信しています。

2種類の損切りについての考え方

僕にとって損切りは大きく2つ分けることが出来ます。

1つはエントリー直後に入れる逆指値注文の損切り。

これは、とあるレートまで進んだら「負け」を認めるためのものですね。

エントリーしてから、いつ逆行するのか分かりませんし、
いきなり損切りレートまで逆行してきたらアタフタしてしまいますので、
僕はエントリー後に絶対に損切りの逆指値を入れますし、

そうすることをオススメしています。

この損切りは、自分の資金を守るための保険的な意味合いですね。

そしてもう一つが、

「逆指値の損切りにはまだ届かないけど、もうダメだなぁ」
と思ったところで決済する損切りです。

エントリーしたはいいけど、動きが悪くて含み損の状態が続いた時にやるのが
この損切りです。

まぁある意味時間決済でもありますね。

これは、最初に予定していた損切りよりも早く損切るために、
浅い傷で終われるのですが、どうしても「**もしかするここれから伸びるんじゃ・・・**」

という期待もあって、最初はなかなか切るのが難しいです。

しかも損切った後に本当に伸びることもあって、メンタル的に厳しいこともあります。

ただ、僕としてはこの損切りも凄く重要だと考えています。
なぜなら、少なくとも思い通りに行っていないポジションを持っていても
仕方がないからです。

エントリーしたら、すぐに含み益が出ていて、
そのまま雪道を転がるように利益が膨らんでいく・・・

っていう経験は誰もがあると思いますが、これこそが一番の理想です。

でもそうはならずに、含み益にもらなず、中途半端な含み損のところで
ウロウロしているポジションは少なくともいい状況ではありません。

それが長く続く状況なら、早く見切りをつけて決済してやった方が良い、
と僕は考えています。

もちろん、その後にエントリー方向に動くこともありますが、
その時は「仕方がない」とあきらめるか、改めてエントリーすればいいだけの話。

少なくとも長いこと含み損が出ている現状では
先も読みにくいですし、イライラとしてしまいがちですからね。

まぁ具体的にどれくらい中途半端な状況が続いたら損切るか・・・
というのはその時の相場だったり、自分自身の考えや手法によって違ってくるので
何とも言えないので難しいのですが、

少なくとも、長らく含み損が出ているポジションについて、
「もうダメだなぁ」と思った時には切った方が良いと思います。

そう思っても損切らないと、今度はなぜかクソポジに対して妙な
期待をすることになってしまいますので・・・。

まぁこんな感じで僕は2種類の損切りを採用してトレードしています。
損を確定させるのに良い気分はしませんが、これが上手に出来るようになると、
小さい値幅で負けられるので、トータルの成績は伸びます。

上手い勝ち方と同じくらいに上手い負け方ってのは大事なんですね。

僕のチャートに対する考え方

定期的に「チャート」について質問を受けます。

チャートの「見方」というよりは、
「どの通貨ペア、どの時間軸のチャートを見てるんですか？」
といった質問ですね。今回はそれについてまとめたいと思います。

監視している通貨ペア

僕がトレード時間中に監視しているのはポンド円とユーロドルのみです。

それ以外の通貨ペアは集中力の妨げになったり、判断を鈍らせるので
チャートを表示させないようにしています。

よく、「色々な通貨ペアを表示させると良い」みたいなアドバイスを見かけますが、
それはもうちょっと大きなタイムスパンのトレード向きのやり方だと思っています。

1分足スキャルのように素早い判断が求められる場合は、
必要な情報だけが目に入るようにした方が効率が良いと僕は考えています。

でも、トレード以外の時間帯、例えばこのブログを書いている時なんかは
モニターの一つに8つの通貨ペアの日足チャートを並べて表示させています。

こうすることで為替相場全体の流れ、方向、勢い、どの通貨が強いか、
なんかが一目で分かるので便利です。

トレード中に監視している時間軸

上でも書きましたが、僕はトレード中はポンド円とユーロドルのみを監視しています。

見ている時間軸は5分足と1分足のみ。

以前からよく「1時間足は見ないんですか？」、「15分足は？」
などといった質問を受けますが、時間軸は2つで十分だと思っています。

理由はやっぱり**「多すぎる情報量に惑わされたくないから」**。
情報が多いほど勝てるのであれば、そりゃ多くの時間軸を使うべきです。

でも、実際は情報が多ければ多いほど惑わされるばかり・・・。

監視する時間軸が多くなるほど時間軸間の矛盾が増えますし、
全時間軸全てで上昇トレンドであったとしても必ずしも勝てるわけじゃない。

そういったことについて色々考えて、相場に翻弄されて苦い思いをした結果、
「**5分足と1分足だけで十分なんじゃねぇの？**」という結論に至ったわけです。
ダメなら損切れば良いだけですし。

5分足と1分足のどちらを重要視する？

僕は5分足をエントリー方向を決めるフィルターとして、
1分足はエントリーとエグジットを決めるために利用しています。

どちらとも大事なのですが、重要視しているのは執行時間軸の1分足。

上位時間軸の流れも大事ですが、
「やっぱりエントリーとエグジットを決める足の方が重要だよね」
ってことで、トレード中は1分足ばかり見ています。

これまでにもトレード中のチャートの使い方について書いてきましたが、
意外に思われる方も多いみたいです。

確かにネット上で書かれている一般的なトレードのやり方とは
違うかも知れませんが、僕にとってはコレが一番やりやすいんですよね。

過去に何度も失敗して、そこから徐々に改善してきた結果、
余計な情報を遮断して、無駄な行動を減らして現在に至ります。

僕のやり方が絶対的に正しいとも思いませんが、
長くトレードをやり続けるのであれば、自分なりのやり方やスタイルを
確立していくべきだとは思います。

もちろん自分が本当に納得した形でね・・・。

トレードノートで気づく自分の成長

トレーディングってのは、自分の成長がわかりにくいビジネスです。

その理由は相場のランダム性。

一般的な相場理論はありますけど、毎回その通りに動くわけもなく、
逆行ったり、妙な動きをしたり・・・と予測して対応することが非常に難しいわけです。

統計的に優位性のあるポイントを知っていたとしても、
毎回必ず勝てるわけでもなく、時には連敗が続いてしまって
「こりゃもうダメだ」と思うのも、ある意味仕方がありません。

「ここは重要だからテストに出るぞ！」

と習って、その通りに応えたら×をつけられる・・・
これが日常茶飯事なんですよ、相場は。

こんなランダム性のおかげで、時には「自分はもう専業になれる！」
と過大評価することがありますし、その逆に「もう全然ダメだ・・・」と
必要以上に落ち込むことがあるわけです。

これは、**「自分自身」**と**「相場」**の二つの変数があるからです。

例えば楽器の演奏、ダンス、筋トレ等は、「自分自身」だけで簡潔します。
変数は「自分自身」だけから、自分の成長は本当に分かりやすいです。

他の業種でも変数が二つ以上のものはあると思いますが、
相場ほどコロコロと性格を変えてくるヤツはいないでしょう・・・・。

そんなわけで、トレードにおける自分自身の成長や技術の向上は
なかなかわかりにくいです。

毎回相場の動きもボラも違うので、技術が同じであっても
取れるpipsにも違いが出てきて当然なのです。

でも、過去の自分も含めて、あまりトレード経験がない人は、
「トレード結果＝全て自分自身の実力」
と思い込んでいる節があるように感じます。

だからこそ、勝ちトレードで有頂天になったり、負けトレードでは自分が否定された
と感じて、無駄にイライラすることになるのでしょう。

ですが、「トレード結果＝全て自分自身の実力」ではありません。

あくまでも自分と相場の二つの変数によるものです。

自分の実力は固定であっても、相場の動きによって結果は大きくちがうのです。

では、相場によって変わってしまうトレード結果から、自分自身の成長や向上を
どうやって見いだすか？というと、それはトレードノートにあります。

その日の相場の動きに対して、自分はどう考えてどう取引したかを
ちゃんとノートに記して、後になって読み返す・・・。

きっと自分の過去のトレードを冷静に見直すことが出来ます。

「このときは全然分かってなかったんだなぁ・・・」と思うこともあるでしょう。

こんな時に、自分のトレードの成長を感じられたりしますよね。

トレードで利益が出はじめるまでには、努力が必要です。

その努力と結果が見えにくいトレーディングだからこそ、
トレードノートで「その時の自分」を記録していく必要があるんですねぇ。

リスクを取ることが極端に嫌いな人

トレードでは、自分の口座資金が上下します。

利食いしたら資金が増える、損切りしたら減る・・・当然ですね。

僕はよくこのブログでも書いていますが、損切りは必要経費なので、
資金の上下は、トレーダーとして受け入れないといけない事実です。

これは商売をやっている人にとっては「仕入れ」と似たようなモノですから。

損切りをすると「つらい」、「むかつく」、「取り返したくなる」という感情が
生まれる理由は、口座資金が減るからです。

損切りになって、口座資金が減ったときにどう考えていつも通りのトレードをするか？

というのが**「トレードのメンタル」**で主要な部分になるかと思います。

この「口座資金が減ったとき」って、人によって耐性が違いますよね。

負けが続いてもケロッとしている人。

1回負けただけでも不安になって落ち込む人。

2度負けたらスイッチが入って暴走する人。

などなど、トレーダーの性格がモロに出るんです。

こんな中で一番トレードが向かない人はというと・・・
「**損切りするたびに極端に落ち込んで、次のトレードを避けたがる人**」です。

リスクを取って利益を出すのがトレードの本質ではあるんですが、
極端にリスクを嫌う人もいるんですよね。

こういった人は、**「どのトレードでも勝ちたい**」という思いが強すぎて、
聖杯を探し回って「100%勝てます！」といった情報商材を買いあさったり、

損切りをしないトレードルールを採用して最終的には大損失を食らったり・・・
する傾向にあるようです。

この辺はどうしても性格によるモノが強いんですが、
トレーダーならある程度は損失を出すことを覚悟しておく必要はあると思います。

だからこそ適切なリスク管理戦略も求められるわけですね。

もし、リスクに関して敏感で、ちょっとした負けで次のトレードを尻込みする
傾向のある方は、もう少しロットを下げる方が良いでしょうね。

そして、ゆっくりと時間をかけて、リスクを取ること、
直近のトレード結果に左右されずに「トータルで勝つこと」を体感して、
慣れて学んで「当たり前」にしていくことが大事です。

生まれ持っての性格も重要ですが、それ以上に経験や慣れが重要です。

考え方は変えられるのですから。

手法を極めるとはこういうことだ

僕のマニュアルに興味を持った方からよくいただく質問があります。
それは、

「どれくらい勉強したら勝てるようになりますか？」です。

コレは人によるものなので何とも言えないのが正直なところです。

例えば、元々GMMAを使ってトレードしていた人は、
マニュアルの内容が取っつきやすいでしょうし、逆にチャートを見たこともない人が
いきなり始めたとしても、結果が出るのには時間がかかるでしょう。

まぁ僕個人的にはですね、トレード手法を学ぶっていうのは、
茶道、華道、格闘技にある「流派」を学ぶのと似ているんじゃないかなと思うんですよ。

何度も書いていますが、継続的な努力と時間が必要なんですね。

一般的に「トレード手法」といえば、「どこで入ってどこで出るか？」です。

もっと言えば、勝てるエントリーポイントを知るために人は手法を求めるわけです。

確かにそれが相場で勝つための究極的な目的でもあるんですが、
勝てるエントリーポイントってのはなかなか分かりません。

なぜなら、相場の動きは日によって全然違うからです。

大きなボラを伴って一方向に動き続ける日もあれば、
レンジで上下するだけの日もある。

同じようなところで仕掛けたとしても、負けるときもあれば、勝つときもある。

そんなランダム性の混じった相場の中で闇雲に仕掛ければ、

効率的なトレードは出来ません。
だからこそ今の動きは自分のトレード手法が通用するかどうか？
ということを考える事も大事なのです。

簡単な例で言えば、チャートがキレイで見やすい⇒積極的に入ろう
チャートがわかりにくい、ローソク足がグチャグチャしている⇒見送ろう
みたいな感じです。

このように、それまでの相場全体の流れや動き、そしてエントリー条件の揃った時に

「エントリーするかしないか、入るならどの辺りで出るか」

を考えられるようにることで、トレードの技術は上達していきます。

また、どんなに自信を持ってエントリーしても、もしくは見送ったとしても、
外すことはよくあります。

そんな時、暴走させないために、どうやって自分を納得させられるか？
これも大事な技術です。不調の時ほどトレーダーの技量が見えてきます。

同じトレード手法でも「知っていること」と「極めている」では次元が全く違います。

知っているレベルは、あくまでも大雑把にエントリーとエグジットを知っているだけ。

でも極めているレベルは、頭の中で「どんな流れからエントリー条件を満たしたら
勝ちやすいか？」のチャートパターンが山ほど詰まっている。

そして過去の経験から勝っても負けても調子に乗らず、悲観しすぎずに
淡々とトレードを継続することが出来る。

これはそう簡単にできるものではありません。
やっぱり辛い思いも必要だし、そこから這い上がる根性も必要です。

手法を学ぶっていうのは、「**手法を通じて相場を学ぶ**」という意味。

相場を学んで手法を使いこなせるようになり、
自分自身の管理も出来るようになった時こそが、
手法を極めたとき、自分自身のモノに出来たときじゃないかなと僕は思います。

トレードノートってどう書いたら良いの？

「ノッティーさんはどんな感じでトレードノートを書いていますか？」

という質問を頂いたのでここで回答します。

まず、僕のトレードノートを書く流れとしては、

トレード中は紙に手書きして、トレード終了後にエクセルに清書する

ようにしています。1分足トレードだと忙しいときもありますからね。

加えて、頭にあることを手書きすることで、
自分の事を客観的に見て、精神的に落ち着けます（ような気がします。）

で、トレードノートの流れですけども、
とりあえずトレード前に自分の感情やチャートを見た感想を書きます。

「クソ暑くてやる気が出ない、早く寒くなれ」

「肩こりが激しい、もっと良い椅子が欲しい」

「わかりにくいチャートだな。やりたくないなぁ」

「前日上げたから、今日も上げやすい流れになるか？」

こんな感じで。（上記は先週のトレード前に書いたモノの一部です）

こういった情報はあまり必要ないかも知れませんが、
あまり良いトレードが出来なかったりしたときに、
トレード前の自分の情報を見ると、納得出来たりするんですよね。

相場が悪いって最初から分かってたじゃないか・・・とか、

トレード始める時点でイライラしてたんだなぁ・・・とかね。
で、当然のことながトレード前後の事についても手書きで殴り書きしていきます。

「○○だからエントリー。自信あり」

「△△なので利食い。何度か途中で逃げようと思った」

といった感じですね。

それからポジション保有中の感情なんかもとりあえず書いておくと
後から見て参考になりますし、自分を客観視するのに役立ちます。

他にも見送ったポイントについても、なぜ見送ったかの理由も書きます。

それから、トレードしていると、色々なアイディアだったり、
自分の改善点や足らないところを実感することありますよね。

それもちゃんと残しておくことで、今後の課題や検証テーマを決めるときに
大いに役立ちます。

トレード中って本当に色々な情報が自分自身から発信されてるんですよねぇ。

トレードルールを守るのがまだ難しいと感じている人は、
各トレードについてしっかりとルールを守れたかどうかも書いておきましょう。
最後にルール厳守率なんかを出してチェックすると面白いかも。

で、トレードが終了したら、その日のチャートと一緒に、
自分の手書きした内容とトレード結果をエクセルに記入していきます。

毎日のことなので、自分用の雛形を用意していると楽で良いですね。

そしてこのトレードノートを翌日、週末、月末、年末などに見直すしていくわけです。
すると、自分に何が足りないか、どうしたらもっと良いトレードが出来るか、
自分が勝ちやすいエントリーポイント、逆に負けやすいエントリーポイント、

途中で利食いした方がいいような動きはどんなモノか？
なんかがよく見えるようになります。
これは本当に財産みたいなものす。

だから、毎日少しの時間を「**投資**」してトレードノートを作っていくことを
僕は激しく推奨していますが、実際にコレをやれる人は少ないです。

慣れるまでは面倒ですし、不調なときにノートを書くのは辛いですからね。

それでも本当にトレードで勝ちたいと思う気持ちがあるのならやれるはず。

そして僕の教材を学んで**「勝てるようになった！」**と報告してくれる方の
多くが実際にトレードノートを書いています。

トレードノートが習慣化したら、書かないのが「もったない」と思えるくらいには
なるんですけどね・・・・。

トレードは短期間で一気に技術が身につくモノじゃありません。

だからこそ日々の小さな進捗を見て、目標を明確にして、
毎日、毎回のトレードの「気づき」を大切にしていかないといけないのです。

トレーディングの難しさ

トレードで利益を出し続けるのは難しいです。

よくね、ネット上で「**トレードは簡単です**」とか「**楽して儲けよう！**」なんて
書かれていますけど、そんなわけがない。

ぱっと見は座ってマウスをポチポチしていれば勝てるように見えるわけですが、
その中には色々な判断や技術を要するわけです。

まぁ僕も元々は「**FXって簡単に稼げるのか、なら始めよう**」と思ってスタートした
人間なんですけど、まぁ苦労はしましたよ・・・。
トレードを始めた当初なんて、
「上か下か当てるだけなんだから、綿密なチャート分析なんていらんでしょ？」
と考えて適当にやってましたからね・・・。懐かしいっす。

それから何度も何度も相場にボッコボコにやられて、色々と勉強する中で
ようやく「トレードは難しい」と分かって、まじめに取り組むようになりました。

だからこそ、「トレードなんて楽勝！」なんて言えません。

過去に苦労して、前が見えない中で模索し続けながら頑張ってきた
自分自信を否定することになりますからね。

トレードの難しさって色々とあると思うんですが、
突き詰めると以下の2点が相場の難しさだと思うんですよ。

・エントリーとエグジットの2つについて判断しなくてはいけない。

・自分がポジションを持っていても、持っていなくても相場は動き続ける。

それぞれについて解説します。

エントリーとエグジットの2つについて判断しなくてはいけない

トレーディングは、エントリーしたら勝つか負けるかを待つだけではありません。

競馬のように、馬券を買えば終了、というわけではなく
適切なところで決済してやる必要があります。

「適切なところ」の理想は、勝ちトレードであれば利益が最大に伸びたところ、
逆に負けトレードであれば、最も含み損が少ないところ、というポイントですね。

まぁそんなことは無理なので、自分で目安を作ってエグジットを判断することになります。

一般的には「エントリー」が重要視されていますが、**エグジットも同じくらい大事です。**

如何にしてポジションを手仕舞うかで損益が大きく変わるからです。

しかもポジション保有中は色々な考えが頭を巡って、判断するのが難しくなります。

初心者が損切りが出来ずにクソポジを保有し続けて口座がぶっ飛ばすのは、
撤退戦略の重要性を知らない、もしくは実行出来ないからです。

エントリーしたら終わりじゃない、ポジションを手仕舞うための判断も必要。

コレも難しさの一つだと思います。

逆に言えば、エントリーで失敗しても、上手にエグジットすれば軽い傷に留めておける
とも言えます。この辺は技術次第ですね。

自分がポジションを持っていても、持っていなくても相場は動き続ける

コレも厄介なんですよ。

自分が損切りした直後にバイーンとエントリー方向に伸びたり、
「ココはダメだ、見送るべきだ！」と判断しところで伸びたりすると、

凄く損した気持ちになるわけです。

そしてこんな経験が続くと、「**損切りしなくても良いんじゃね？**」という結論に
たどり着くんですよねぇ・・・。で、その後の結果はご存じの通り。

僕たちトレーダーの仕事は、動き続ける相場の中の、
「特定の動きやパターン」のみで取引して差益を得るものです。

その理屈で言えば、「特定の動きやパターン外の動きはどーだっていい」
と判断すべきなんですが、そうやって割り切るのも難しいです。

動くチャートをじーっと見ていれば、エントリーポイントじゃなくても
エントリーしたくなる気持ちも分かります。

損切るポイントにきても「ここから戻すんじゃないかな？」と思う気持ちも分かります。

でも、これらは動き続ける相場の誘惑に過ぎません。
相場が、僕たちに下手なトレードを仕向けるようにやっているようにも見えますよね。

相場は動き続けるからこそ僕達にトレードのチャンスを提供してくれるわけですが、
その中には誘惑も含まれていることを忘れちゃいけません。

難しいと認めよう

以上、僕がトレードが難しいと思う理由についてまとめてみました。

他にも掘り出せばトレードが難しい理由なんていくらでも見つかるとは思いますけど、
突き詰めれば上の2つかなと思います。

誰がなんと言おうと、トレードは簡単ではありません。
まずはそれを認めて、本気で取り組むことが大切だと思います。

結果的にそうする方が、利益を出せるようになるまでの期間は短くなるはずです。

確実を求めない

・確実なエントリーポイント
・確実なエグジットポイント
・確実に勝てる手法
・確実な相場分析方法

などなど、僕たちトレーダーは「確実」を追い求めがちです。

上のような文言が書かれた文章を読むと「お！」と思うでしょうからね。

ではなぜ「確実」を求めるかというと、安心したいからです。

確実に勝てるエントリーポイントで安心してトレードしたい・・・みたいに。
確かにこの気持ちは分かります。

でも、安心のために確実を求めると、必然的に色々なトレード手法を求めては
確実ではない事に気づいて、新しい手法を求めて・・・のサイクルになってしまいます。

で、結局何の技術も身につかずに、相場と「確実を謳う手法達」に翻弄されるまま
終わる・・・という流れです。

悲しい結末ですよね。

まぁ、確実を求めるが故の手法探求は、誰もがやることではあります。

かつての僕も、色々とネットを検索して新たな手法を知っては
「ムフフフ、コレで人生安泰」と確信していましたので。

ただ、**現実としては確実なんてどこにもないんですよ。**

確実を保証してくれるものもありません。

まぁ多くの人はそのことは知っているはずなんですけどね。

でも、それ以上に「確実」から得られる「心の安心」の魅力には抗えない・・・。

逆に言えば、確実じゃないと不安になるわけです。

一般的には、不安を解消するために保険という金融商品があります。

でも、トレードにはそんな便利なモノはありません。

保険会社と同じように、過去のデータから統計を取って、
自分たちに優位性があるやり方で勝負していくしかないんです。

優位性＝確実ではありません。

どんなに優位性があっても、次のトレードで確実に勝てる保証はありません。

そんな現実のなかでトレードしていくためには、確実性を求めない方が
実は有利だったりします。

「確実だ！」と思ってエントリーするも、すぐに損切りになった場合、
無駄にメンタルを消耗してしまいますからね。

相場に確実や絶対はない、ということを受け入れてトレードをすると、
少しは気楽にトレード出来るんじゃないかな？と思いますよ。

FXで利益を出せるようになった秘訣？

まぁ結局、継続だと思うんですよね。

何をするにしても、自分の望んだ結果を得るためには、
正しい方向の努力を継続していくしかないと僕は思っています。

多分、FXを始める多くの人が、「楽して稼ぎたい」、「自分で資産運用！」
みたいな感じで、相場がどれだけ厳しいものかを知らずに、
舐めてトレードを始めているんじゃないかと思います。僕も含めて。

そんな人たちの半数以上が、トレードを始めて1年以内に
「FXって簡単じゃないからやめよう」と思って相場から去って行きます。

初心者なのに大勝負を仕掛けて、全部相場に持って行かれる話も聞きますね。

で、僕が思うに、残った人たちは大きく2種類に分けられると思います。

1つが純粋なギャンブラー。

お金を賭けて遊ぶことが大好きな人です。

もちろんFXで勝ちたいけど、努力は一切しない。

ポジションを持ってハラハラすることを楽しむためにFXをやる人です。

意外にこういう人は多いっぽいです。

で、もう一つが「FXは努力が大事だと分かって、自分なりに頑張っている人」。

僕のブログを見ている人のほとんどがこっちのグループに該当します。

このグループの中で、「**正しい方向の努力を継続した人**」が勝てるようになるんです。

では、正しい方向の努力とは一体何かというと・・・

・勝てる手法を採用してトレードの技術を磨いていく
・しっかりとトレードの反省をする
・自分の行動や感情の動きを客観的に見ようとする

この3つになるかなと思います。

まぁどれも面倒ですよ。時間がかかりますし、本気じゃないと続きません。

それでも真面目に努力している人は多いとは思いますが、
今度は相場のランダム性がトレーダーの努力を邪魔します。

実力が伴っていないのに好調な結果が続いたり、
逆に実力が付いてきているのに、勝てない時期が続いたりするわけですね。

自分の成長具合が測りにくいのがかなり厄介なんですよ。

こんな感じで、勝てるようになるには継続した努力が絶対に必要なんですが、
継続すること自体が非常に難しいんです。

時には自分の実力を過剰評価し、時には過小評価し、
前が全く見えない中で先に進むのは大きな不安が伴います。

「もしかして前に進んですらいないんじゃないか？」

「ずっと暗いままじゃないのか？」

と思うこともあると思います。（僕もそうでした）
そういった不安をはねのけて、「自分は勝てるようになる！」という強い信念が
FXに関わる努力を継続するための大きな要素になるんじゃないかと思います。

今現在、不安の中で頑張っている人や、これから本気で頑張ろうと思う人に、
心に響く言葉が「デイトレード」の中にあります。

大きな進歩をみせるのは順風満帆の時ではない。

純度の高い金ができあがるように、トレーダーは困難の業火に耐えている時に
不完全性が取り除かれ進歩するのである。

山積する困難に立ち向かうときに人格やトレーディングの眼識が形成されていく。

何一つ上手くいかず、すべての選択の結果に自らの未熟さを思い知らされた時に、
自らが成長しているとは思えないかも知れないが、こうした困難から這い上がって
くる度に大きな成長を遂げているのである。
困難から這い上がってくる能力自体がその証である。

かつて僕も上の文章が書かれているデイトレードの92ページを何度も読んで
自分を奮い立たせました。本当にお世話になった本です。

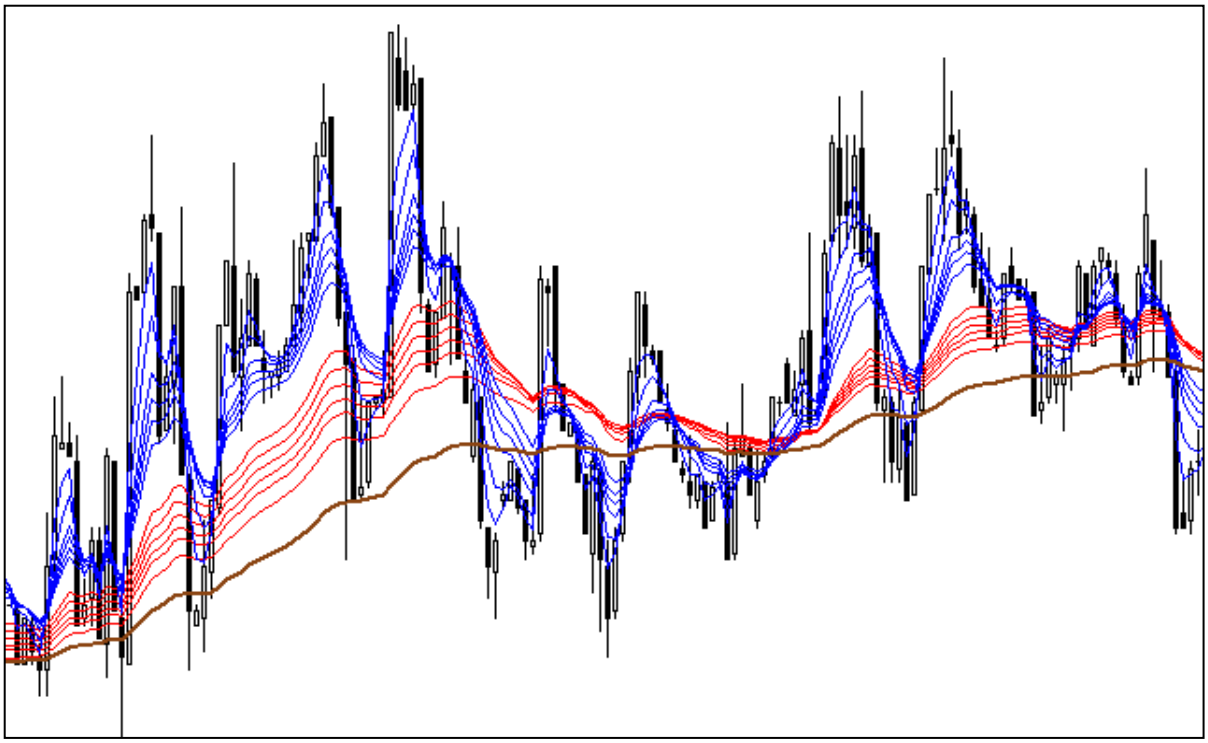
勝つための努力は楽ではありませんが、
努力するだけの価値と報酬は得られると思います。

金脈を目の前にして止めていく・・・なんてことは絶対やらないようにしましょう！

チャートが乱れるとは一体どんな状態？

毎年似たようなことを書いているんですけども、
クリスマス前の相場が閑散としているときは、チャートが乱れやすく、

トレードがしにくいことが多いです。
チャートが乱れている、っていうのは下のような状態のことです。



視覚的に分かると思いますが、見にくいですよね。

特徴としては、以下の3つです。

・ローソク足のヒゲが異様に目立つ
・トレンドが出ても陽線と陰線が入り交じりやすい
・ボラが小さい
・続きやすい

この条件が揃うと非常にトレードしにくくなります。
トレンド方向にエントリーしたとしても、すぐに損切りにあったりしますし、
それなりに含み益が出てきても次の瞬間には逆行して含み損に・・・

なんてこともしばしば。

そして最も厄介なのが、「**乱れた動きは継続しやすい**」という点ですね。

下手するとその日、もしくはそのセッションはずっと乱れっぱなし、
なんてこともあります。

ですから、トレードを開始した段階でチャートが乱れていると判断したら
その日のトレードは休止を考えるか、乱れた動きが弱まるまで待つか、
少なくともいつもよりはエントリーを厳選すべきですね。

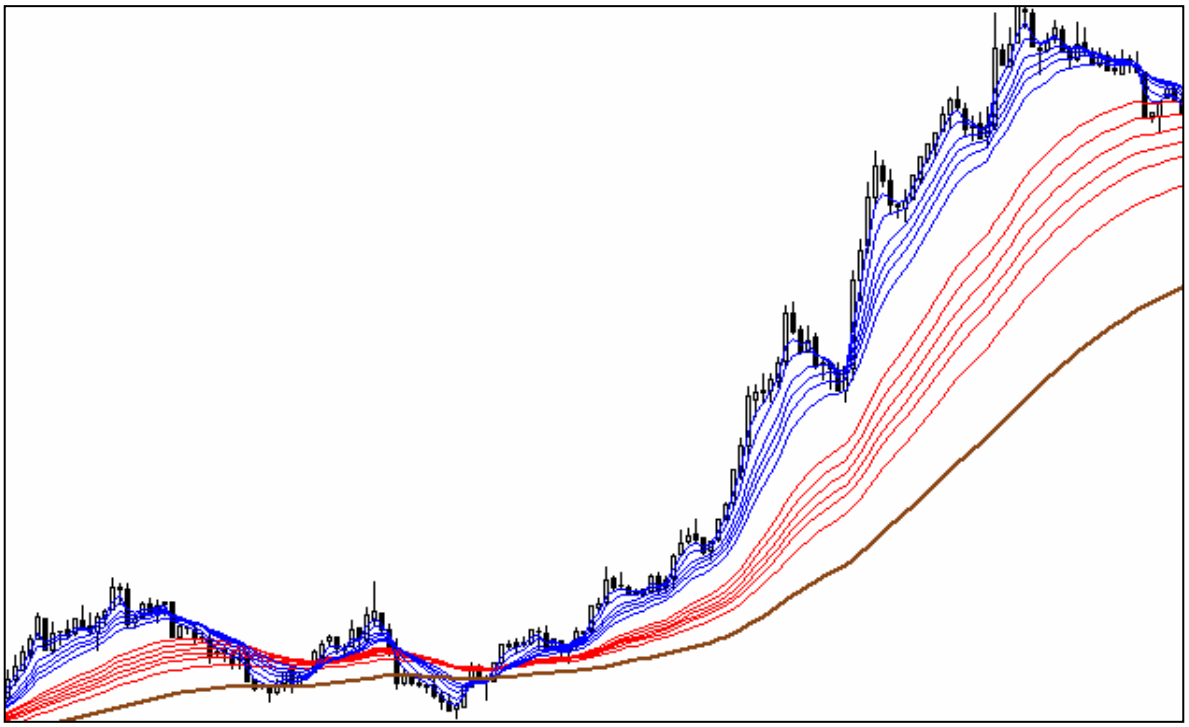
チャートが乱れている時に奮闘しても良いことはありません。

ピコピコと上下に振れるローソク足に翻弄されて、
メンタルが崩壊してとんでもないトレードをしでかす可能性もあります。

年末っていうのは色々とイベントがあってテンションが上がる時期です。

こんな時期を楽しく過ごすためにも、チャートが乱れているときは要注意して、
変な相場の時はエントリーをガンガン見送ってトレードしていった方が良いと思います。

ちなみに、乱れた動きとは真逆のキレイな動きは下のようなチャートです。



こんな時は本当にトレードしやすいです。

お目にかかることは少ないですが、キレイなチャートの時だけトレードをする、
というだけで、かなりエッジは高まると思います。

この辺は視覚的な判断になりますが、決して難しいモノではないと思いますよ。

天気予報とテクニカル分析

天気予報とテクニカル分析は共通点があります。

それは、過去の動きから将来の動きを予測していく、という点ですね。

天気予報では気象予報士さんが様々な気象データやコンピューターを
用いて、その日、もしくは明日以降の天気を予測します。

最近の天気予報の精度は高くて、翌日の天気くらいまでなら
結構な高確率で的中しますよね。

で、テクニカル分析はというと、トレーダーやアナリストが
過去の値動きから現在の相場のトレンド状況を把握して、
これからどちらに向かうかを予測します。

こんな感じでどちらも過去の情報から将来の情報を引き出す行為は
同じではあるんですけど、決定的に違う点があります。

それは、**参照するデータが科学に基づいているか否か**です。

気象は自然科学です。

地球上で起きる科学的な現象である気象は、様々な定理や理論に従います。
1気圧下であれば水は100℃で沸騰する、みたいに再現性が高いわけです。

では市場の価格変動はどうでしょう？

確かに統計を駆使して、過去の特定の動きにおいて
「上に向かいやすいか」「下に向かいやすいか」を見つける事は可能です。

でも、相場の値動き自体はランダムを含んでいます。

相場の値動きの仕方はまだ科学では解明されていません。
なので、科学のように非常に高い再現性があるわけではありません。

なぜなら、市場の動きは科学的ではないトレーダーという人の動きを反映するから。

ニュートンも**「天体の動向なら計算できるが、人間の狂気までは計算できなかった」**

と言ったように市場の動きはよく分からん動きの事が多いのです。

また、マーク・ダグラスの著書である「ゾーン」でこんな話があります。

とあるトレーダーが、お抱えアナリストから「支持線付近で下げは止まります」
というアドバイスを受けました。（そのトレーダーはテクニカルには詳しくない）

そこでトレーダーは「そんなのはデタラメだ！見ていろ！」と言って、
成行きで大量のショートポジションを取ったら、相場は一気に暴落した・・・
という話です。

そこでトレーダーはアナリストにこう言います。

**「マーケットが動きを止めるだろうと君が言ったところはどこかね？
私にできるなら、だれにだって出来るさ」**

こんな感じで、相場の動きはお金を持った人の動き一つで大きく変動する
可能性のある、予測不能な一面を持っています。

1月3日の朝の「フラッシュクラッシュ」と呼ばれる瞬間的な暴落なんかも、
予測するのは無理ですよね。

そんなわけなので、テクニカル分析っていうのはトレードで非常に役立つ反面、
信用しすぎるのもキケンです。

僕もテクニカルを使ってトレードしていますが、

何度も外しても大丈夫なような資金管理戦略で取引しています。

流動性が下がって、特定の人たちが相場を動かしやすくなる期間は
できる限りトレードを避けるようにしています。

このように、相場に臨む以上は不確実性を受け入れて、リスクを管理する
必要があります。

ココがしっかりと出来ているかどうか？で今後生き残れる可能性が全く違った
ものになるんじゃないかなぁと僕は考えています。

終わりに

今年もPDFにまとめることができました（笑）

毎日トレードをやっていると、色々な事が思い浮かびます。

そういった思い浮かんだことをブログに書き綴っているため、
本PDFも全体としての「まとまり」はないと思いますが、読んでくれた方にとって
何か得られるモノがあれば幸いです。

最後の最後に広告を・・・。

僕のトレード手法と考え方につきましては、詳しく解説したマニュアルを
DLmarketにて販売しております。

数あるトレード手法の中でも有効性の高いされる「**押し目買いと戻り売り**」
をGMMAとRCIを使って仕掛ける手法です。

販売開始から3年半が過ぎて、既に色々な方からご購入頂いており
「わかりやすくて具体的で実践しやすい」と好評をいただいています。
また、教材購入者の方の中には専業トレーダーになられた方もいますし、
多くの勝ち組トレーダーを輩出しています。

トレードで勝つのは簡単ではありませんが、真面目にトレード技術を手に入れたい、
トレードで人生を変えたいと思う方にオススメします。

マニュアル購入者の方向けに、サポートブログもあります。
サポートブログの方では

・MT4用のインディケーターとテンプレートのダウンロードと設定方法の解説
・無料でできるMT4を使ったトレード練習方法の解説
・効率の良い検証方法の解説
・マニュアルでは書ききれなかったチャートやトレードの補足事項
・購入者の方から頂いた質問の解説
・FT2(FT3でも利用可能）のGMMAとRCIのインジの配布（製作者様のご厚意です）
・トレード解説

等をやっています。マニュアルを一度読まれたら、サポートブログの方も一緒に
読んで頂ければ、より一層理解が深まると思います。